



歴史の駅

詩歌と能楽

小鼓方大倉流人間国宝

大倉源次郎師と 能楽に親しむ

令和を迎え伝統が見直されている今、能楽という日本固有の芸能が育まれた日本について、小鼓方人間国宝の大倉源次郎師をお招きし、小鼓を通して縦横無尽に紐解きます。



打楽器は人類が初めて手にした楽器と伝えられます。アフリカと日本の打楽器の驚くべき共通点、雛祭りに歌われる「五人囃子」に秘められたエピソードの紹介。エアー鼓体験など、他では味わうことの出来ない囃子の面白さを体感して頂きます。

これまでの能楽入門講座とは一味違う切り口で能楽の魅力を語ります。

「能楽は難しいもの」「能楽は高尚な文化」などの先入観を無くしてご来場下さい。

2019年9月29日（日） 13:00～15:00（開場 12:30）

高輪区民センター（港区高輪 1-16-25 高輪コミュニティぶらざ内）

共催：NPO 法人歴史の駅・高輪区民センター

参加費：1,000円（事前申込制/先着 250名、費用は当日会場にてお支払いください）

お申込方法：歴史の駅公式サイトから / 裏面のお申込書に記載の上、FAXから

お問い合わせ：NPO 法人歴史の駅事務局 080-5013-3355 / info@rekishinoeki.org

高輪区民センター 03-5421-7616



歴史の駅 公式サイト
<http://rekishinoeki.jp>

詩歌と能楽 小鼓方大倉流人間国宝

大倉源次郎師と能楽に親しむ

日本の伝統の柱は、やはり古事記、万葉集で、爾来日本語を美しく作り続けた言霊の幸はわが国の伝統が新年の天皇を中心に続けられている歌会始めに繋がっているのです。そこから歌物語が生まれて芸能化した舞台芸術が14世紀の「能楽」で17世紀の歌舞伎、文楽と続くのです。これらが日本の芸能・芸術あらゆる文化の母親的存在になっています。

6世紀に仏教が伝わり様々な民族が日本にやってきましたが彼らが伝えた音楽は日本の風土で融合し鍛えられ多様性を調和させる知恵が生まれました。

令和を迎えて伝統が見直されている昨今、改めて能楽が育まれた日本を、小鼓を通して縦横無尽に紐解きます。打楽器は人類が初めて手にした楽器と伝えられますが、アフリカと日本の打楽器の驚くべき共通点、雛祭りに歌われる「五人囃子」に秘められたエピソードの紹介。

エアー鼓体験など、他では味わうことの出来ない囃子の面白さを体感して頂けると嬉しいです。

これまでの能楽入門講座とは一味違う切り口で能楽の魅力を語りますので、「能楽は難しいもの」、「能楽は高尚な文化」などのあらゆる先入観を無くしてご来場下さい。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

大倉源次郎（おおくら げんじろう）

昭和32年（1957年）9月7日大阪生まれ。

能楽小鼓方大倉流十六世宗家

（大鼓方大倉流預かり）

公益社団法人 能楽協会理事。

流派を超えて21世紀の能を考える「能楽座」座員。

能公演はもとより、誰もが日本文化である能と気軽に出会えるよう

「能楽堂を出た能」をプロデュース。

新作能、復曲作にも数多く参加。海外公演延べ30ツアーを超える。子ども向け能楽体験講座など各地で開催。

平成23年 奈良県桜井市多武峰談山神社にて奉納「翁」を制作、紀伊國屋書店ポルケにてDVD化される。

平成24年 以降は奈良県桜井市多武峰談山神社にて談山能の制作を担当。

平成29年 重要無形文化財各個指定。

著作に能楽囃子方の立場から能の魅力や紐解き、世界各地での能楽公演の画像など能楽の魅力が満載された能楽案内本。淡交社発行「大倉源次郎の能楽談義」がある。



お申込書

下記番号までお送信ください。
FAX 050-5865-7811

9月29日（日）

13:00~15:00

詩歌と能楽

お名前	フリガナ	申込日	年	月	日
	様	申込人数			名
ご連絡先	ご住所	〒	—		
	TEL	—	—	FAX	—
	E-mail				

お問合せ NPO法人歴史の駅事務局 ☎ 080-5013-3355 ✉ info@rekishinoeki.org



都営三田線・東京メトロ南北線
白金高輪駅（1番出口）直結